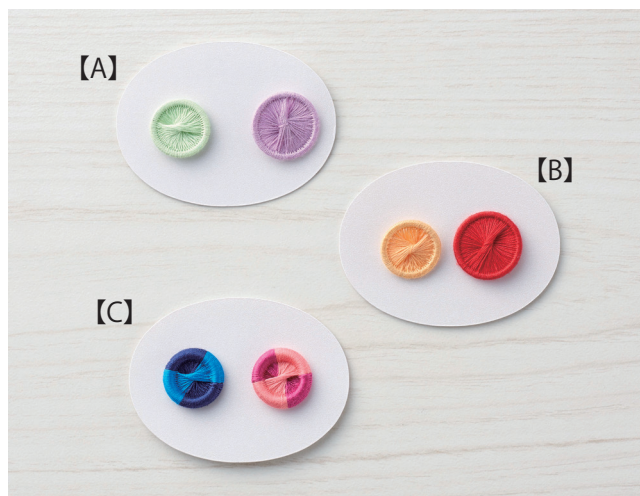


かぎ針付タティングシャトルで作る ミシン糸の糸ボタン



技法考案・デザイン／工房ハーモニー

＜使用道具＞

57-711 かぎ針付タティングシャトル
(No.12 (0.60mm))
<https://clover.co.jp/products/57711>



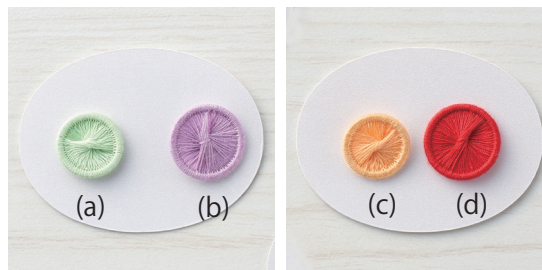
36-666 カットワークはさみ115(11.5cm)
<https://clover.co.jp/products/36666>

＜作り方＞「糸ボタン基本の作り方」の動画も参考にしてください。

<https://clover.co.jp/movie/tattingbutton>



【A】・【B】



＜材料＞

リングパーツ (a)・(c) 直径15mm

(b)・(d) 直径18mm

ミシン糸(フジックス「シャッペスパン」#30)

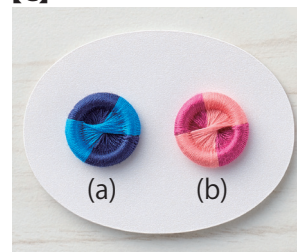
(a)パールグリーン(50)、(b)薄紫(243)、※()の数字は色番です。

(c)オレンジ(234)、(d)赤(14)

各約2m

別紙の「かぎ針付タティングシャトルで作る 糸ボタン＜基本の作り方＞」の通りに作ってください。

【C】



＜材料＞

手芸用リング(透明リング) 直径15mm

ミシン糸(フジックス「シャッペスパン」#30)

(a)青(205)、紺(95) 各約1m

(b)濃いピンク(214)、薄ピンク(7) 各約1m

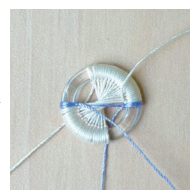
①(a)は紺、(b)は濃いピンクの糸をシャトルに巻き、別紙の「かぎ針付タティングシャトルで作る 糸ボタン＜基本の作り方＞」を参考にリングに結んでいきます。

②リングの左右半分ずつ結べたら糸を10cmほど残して切ります。

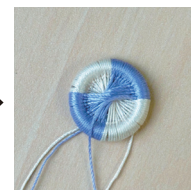
③シャトルに新たに2色目の糸((a)は青、(b)は薄ピンク)を巻き、リングの残りの部分に結びます。
糸端をボタンの裏側で結んで始末して完成です。



最初の糸でリングの半分まで結ぶ



続きから2色目の糸で結んでいく



クローバー株式会社

かぎ針付タティングシャトルで作る ミシン糸の糸ボタン 1-1